

編集後記

「構造色シンポジウムの概要集は必要ですかねえ?」「やっぱりあったほうがいいんじゃないだろうか。記録にも残ることだし。」そんな程度の会話から、概要集を作ることになり、ポスター発表の皆様へ原稿を依頼したのが10月の下旬でした。既に載っていた口頭発表の方の原稿を加えて、白黒コピーし、ホッチキスで簡単に留めて、当日会場に積んでおく、そんな程度に思っていた概要集です。ところが皆様方の原稿が集まると、内容的にも分量的にも相当なものになりそうでした。そこで、いい加減に済ませようと思っていた考えを改め、雑誌風に仕上げてみたのが記念すべき第一号の構造色研究会誌、“structural color”です。何かの場面で引用できるような印刷物にしたいとの願いからです。ゆくゆくは referee をつけた original paper の英文誌 “Journal of Structural Color” に発展するだろうか?などと夢を見ております。しかし、現実に直面する問題は、果たして vol.2 ができるかどうか、という段階でありまして、今後とも皆様方のご協力をお願いするしだいでありまして。

最後になりましたが、ご多忙の中執筆いただきました方々に、深謝いたします。構造色の研究がこれからも発展していくことを期待しまして。

('01 11月5日 大阪大学 吉岡伸也)

構造色研究会誌 第1巻、第1号(平成13年11月9日発行)

発行 構造色研究会

編集委員長 木下修一

560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

大阪大学理学研究科 物理学専攻 木下研究室

電話 & FAX 06-6850-5366